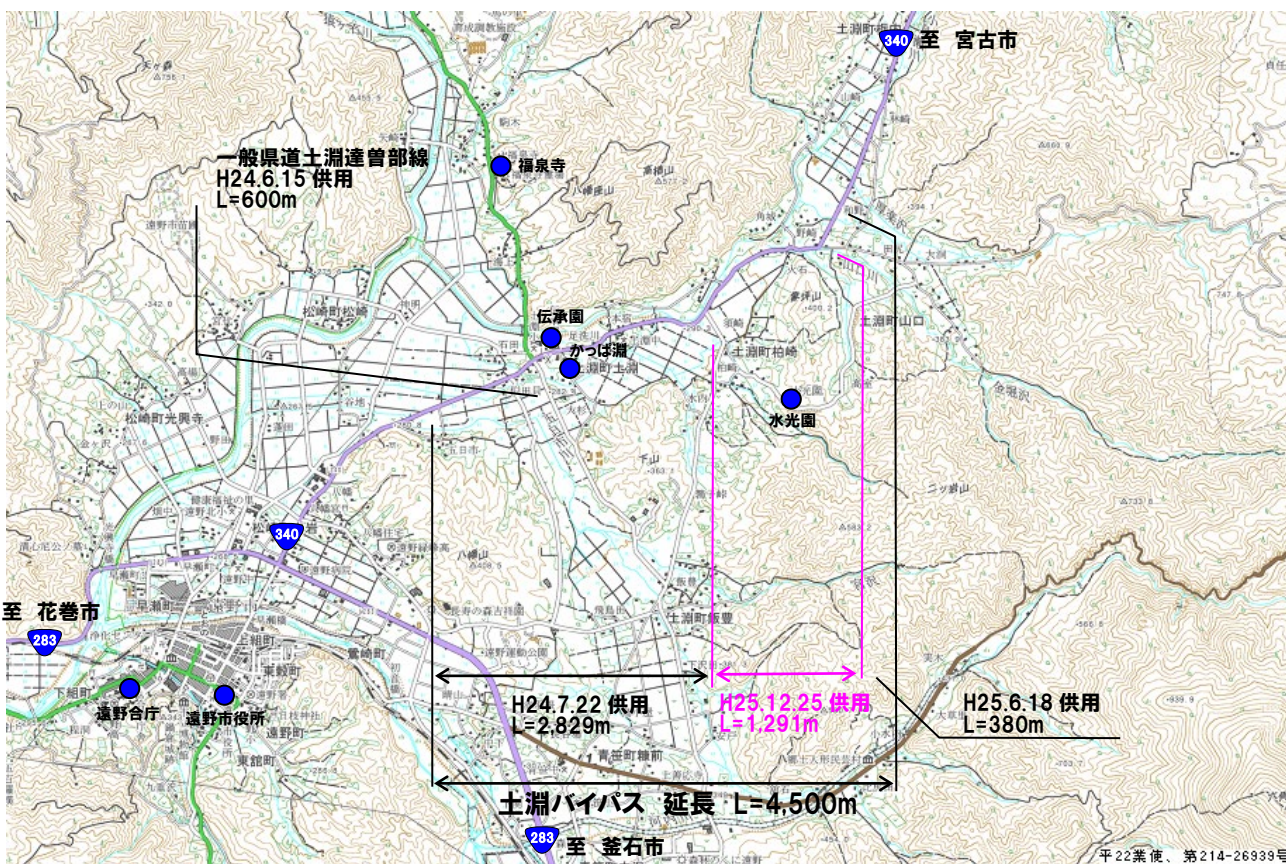


一般国道340号「土淵バイパス」全線開通

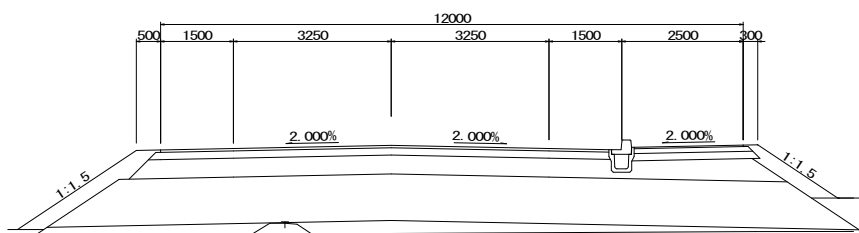
～ 東日本大震災からの復興を加速させる復興支援道路の開通 ～

遠野土木センター
道路建設課

平成25年12月25日に、「一般国道340号土淵バイパス」が、全線開通しました。平成19年に事業に着手し、平成24年には、遠野側の約2.8kmの区間及び一般県道土淵達曽部線の土淵バイパスまで延長された区間の供用がなされ、全線開通が心待ちにされているところでしたが、事業開始から7年の歳月をかけて土淵バイパス全区間を供用することができました。



標準断面図



路線名：一般国道340号
 区間：遠野市土淵町土淵
 ～遠野市土淵町栃内
 延長：L=4500m
 幅員：W=6.5(12.0)m
 設計速度：V=60km/h

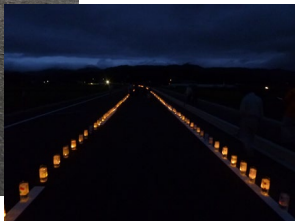
【開通までの取り組み】

地域の方々及び地元遠野市との協議を経て、土淵バイパスの愛称を「遠野かっぱロード」と決定したほか、平成24年7月の一部開通の事前広報として、遠野かっぱ工事隊との開通PRキャラバン、遠野かっぱロードフェスティバル、前夜祭「2000個の灯籠で描く光の道」など、多くの取り組みを行なってきました。

H24.6.21 キャラバン隊の知事表敬

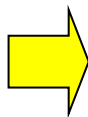


H24.7.21 一部開通式の前夜祭

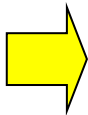


【開通による効果】

起点部：道路幅員が広がるとともに、自転車歩行者道が設置され、伝承園やかっぱ淵に向う観光客の安全性も確保されました。



バイパス部：現道沿線では、大型車のすれ違いが困難でしたが、バイパスの開通により交通の分散が図られました。



今回開通した「土淵バイパス」は、内陸部から三陸沿岸地域の各都市等にアクセスする道路（横断軸）を南北に連絡する道路として、県が復興支援道路として位置付けた国道340号の一部区間であり、東日本大震災津波により被災した沿岸地域の一日も早い復興の支援に必ずつながるものと期待しています。